

チームプレーたたたえる

JOCハンド沖縄V 応援父母ら歓喜

【さいたま】中学生ハンドボールの全国大会、JOCジュニアオリンピックカップで27日、男子沖縄選抜チームが優勝を決めた瞬間、応援していた父母らは歓喜の渦に包まれた。「よく頑張った」「ありがとう」。母親らは抱き合って喜びを分かち合い、選手に拍手を送った。

(1面に関連)

応援席の父母らは「行っけー行っけー沖縄」「一本、それ一本」と選手を鼓舞した。前の試合で準優勝となった女子沖縄選抜の選手らも声援を送った。試合は一進一退の攻防が続き、延長戦で沖縄選抜が激戦を制した。試合終了のホイッスルが鳴ったとたん、応援席は喜びで爆発した。父母会長の親泊達也さん



(49)は試合後「タフな試合だった。そんな中、子どもたちは最後まで集中してよく頑張ってくれた」と選手らをたたえた。息子の寛粋選手が有望選手に選ばれ「周りのおかげ。本人もよく頑張った」とねぎらいの言葉を掛けた。

伊禮颯雅(ハヤシ)主将の母・淳子さんは、優勝の瞬間、大きく万歳して、ほかの母親らと抱き合って喜んだ。淳子さんは誰が欠けても駄目。一人一人がいて優勝できた」とチームプレーの力を強調した。

男子沖縄選抜チームのゴールに沸く父母ら
27日、さいたま市のサイデン化学アリーナ